

帯広市地域公共交通活性化協議会

取り組みの概要

平成20年2月に発足した協議会で、平成21年3月に『帯広市地域公共交通総合連携計画』を策定し、平成21年4月からバス利用の促進に向けた様々な取り組みを行っています。平成27年度からは、新たに『帯広市地域公共交通網形成計画』の策定および実施に向けて、現状調査や関係者との協議等を行っています。

協働の きっかけ

帯広圏の交通手段の分担率は、平成17年度の調査で自動車が78%であるのに対し、バスは僅か2パーセントであり、自動車への依存が極めて高い地域です。またバスの利用者は平成20年度で約400万人とピーク時の22パーセントまで減少しています。バスの利用者減少に伴い、バス事業者は路線や便数を減らし、その結果、更に利用者が減少する悪循環に陥っており、バスが市民の生活の足として十分に機能を発揮できていない状況にあります。その一方で、迫り来る超高齢化社会や環境負荷の軽減等からバスの重要性は益々増えています。そこで、行政や住民代表及びバス事業者等で組織する協議会を立ち上げ、環境負荷の軽減とバス利用の促進を目標に様々な取り組みを行っています。

商業まちづくり課



市民、企業、行政

強み

役割

協働の 成果

- ・西地区コミュニティバスの運行開始（平成24年10月～）
 - ・「おびひろバスマップ」の作成と配布（平成22年3月、平成24年2月）
 - ・高齢者や小学生を対象とした環境出前講座の実施（平成21年4月～）
- など、バス利用の促進に繋がる様々な取り組みを実施しています。

協働のポイント

誰もが利用しやすく持続可能な公共交通を実現することが課題となっています

